



環境省シンポジウム

気候変動を踏まえた 脱炭素社会の実現に向けて

日時 2020年1月18日（土）
14:00～16:00

会場 肥後銀行本店ビル2階大会議室
(熊本県熊本市中央区練兵町1番地)

資料掲載先 <https://www.env.go.jp/press/107595.html>



気候変動を踏まえた脱炭素社会の実現に向けて

本シンポジウムでは、熊本・鹿児島地域における脱炭素社会に向けたノンステートアクターの先進的な取組を共有することにより、九州地方に豊富に賦存する再生可能エネルギーの更なる活用を進めるとともに、気候変動に対して強靱な地域づくりを推進し、第五次環境基本計画において目指すべき社会像として掲げられた「**地域循環共生圏**」（地域の活力を最大限発揮し、自立・分散型の社会を形成することで、環境問題のみならず経済・社会課題の同時解決を目指すもの）の創造につなげていくことを目指します。

プログラム

14:00~14:05	主催者挨拶	環境大臣 小泉進次郎（ビデオメッセージ）
14:05~14:15	来賓挨拶	熊本県知事 蒲島郁夫 全国町村会会長（熊本県 嘉島町長） 荒木泰臣
14:15~14:20	環境省からの政策紹介	環境省 総合環境政策統括官 中井徳太郎
14:20~14:25	地域金融機関による連携取組の発表	肥後銀行 代表取締役頭取 笠原慶久 大分銀行 代表取締役頭取 後藤富一郎 宮崎銀行 代表取締役頭取 平野 巨也 鹿児島銀行 代表取締役頭取 松山澄寛 環境省
14:25~15:25	事例紹介	事例① 「SDGs未来都市としての防災型地域エネルギー事業の取組について」 熊本市長 大西一史
		事例② 「エネルギーの地産池消による地域課題の解決に向けた取組について ～地方自治体・地域エネルギー会社・地域金融機関の連携～」 鹿児島県 肝付町長 永野和行 鹿児島銀行 経営企画部経営統合推進室長 兼 サステナビリティ推進室長 松野下秀峰
		事例③ 「ゼロカーボンに向けた熊本県の動き ～阿蘇地域の創造的復興に向けた地域循環共生圏の構築に係る取組と 地域金融機関の役割について～」 熊本県 企画振興部 地域・文化振興局長 倉光麻里子 肥後銀行 地域振興部 地方創生室長 竹下省吾
15:25~15:55	有識者による意見交換	九州財務局長 （前 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局参事官） 大津俊哉 一般社団法人由布市まちづくり観光局 代表理事 （株式会社玉の湯代表取締役社長） 桑野和泉 ファシリテーター：環境省 九州地方環境事務所長 岡本光之
15:55~16:00	閉会挨拶	環境省 環境事務次官 鎌形浩史